

『母の思い』

ある支部長さんの娘婿が佼成会に反対しているので、遠慮してすこやか保険の加入をお勧めしていませんでした。

7月募集時になり、なんとか佼成会とのご縁を結んでほしいと願い、支部長さんが娘さん家族に家族型の傷害保険に入るようにお勧めして、加入されることになりました。

そして、補償が開始された12月、娘さんから、お孫さんが学校でサッカーをしていた時に蹴ったボールが跳ね返って自分の顔にあたり、角膜に傷がつき、入院・手術をしたと連絡がありました。

他には何も保険に入っていなかったのですが、補償がありませんでしたが、すこやか傷害の家族型に加入していたお陰さまで、かかった費用の全額がまかなえたそうです。お礼のお布施もさせていただくことができ、娘婿も喜んでくださいました。

それからは、娘が教会へ参拝する時には、婿が車で送り迎えをしてくれるようになりました。

